

日本口臭学会会誌投稿規定

1. 投稿規定の目的

この投稿規定は、日本口臭学会雑誌に掲載する総説、臨床・基礎研究、口臭に関する測定法などの報告、治療に関する薬剤などの臨床評価、口臭研究・治療を行う上参考となる情報などの投稿について規定する。本規定に記載されていない事項については、その都度、編集委員会で決定する。

2. 原稿は、投稿時に原著、総説、臨床研究、調査・統計、症例報告、治療上のヒント（検査法・手技・技法など）、などの分類を指定すること。
3. 投稿原稿は、表紙に論文種別、論文表題、著者氏名、所属機関名を（和文、英文）記載する。最下段に投稿校正責任者の連絡先（メールアドレス、連絡先電話番号）を記載する。
4. 英文抄録は、表紙と同じ項目について英文で記載する。氏名は最初の一文字のみ大文字とする。本文は、研究目的、方法、結果、結論を簡潔に記載する。
350～400語をめどとする。同じく日本語で【要旨】を350～400語をめどとして簡潔に記載する。
5. 原稿の取扱:採否、掲載順序等は編集（査読）委員会で決定します。査読は原則2名の査読者が行いその結果、原稿の加筆、削除、書き直しをお願いすることがあります。原稿は原則として、返却しません。
6. ヒトを対象とする内容についてはヘルシンキ宣言を遵守していること。所属機関または本学会倫理委員会の承認を受けることとする。また、動物実験を対象とする内容については、所属施設の「動物実験に関する指針」に基づいて倫理的に行われた旨の明記を必要とする。患者を対象とした症例報告においては、口頭もしくは文書での患者の承認を要する。
7. 症例報告については、個人が特定できないよう配慮する。
8. 原稿送付方法：投稿原稿は、メールにて、一つのファイルが2M以下のファイルサイズとし、下記まで送付のこと。なお、原稿は、なるべくワード（Word、フォントは、日本語はMS明朝10.5p、英文はTimes New Roman10.5p）で作成する。図表はファイルサイズが大きくなりがちなので、別メールにして添付すること。メールで送付できない場合、プリントして、事務局へ郵送または宅急便での送付も可。
9. 原稿送付先：info-jamsl@takeda-prn.co.jp
〒466-8512 愛知県名古屋市中昭和区白金一丁目11番10号 竹田印刷株式会社内
日本口臭学会事務局「日本口臭学会会誌」編集事務局
10. 原稿の締切：締切日は9月30日
（受付：9月1日から9月30日、受理返答予定：翌年1月30日）
11. 刊行（予定）：翌年3月末日配布

原稿作成上の注意

1. 学術論文の場合

- 1) 原稿は、ワードなどで、用紙設定を、A4判の用紙として、1枚=1行40字×30行とする。

原稿提出形式：本文、文献を一つのファイルとし、表、図は、順にまとめ表と図の挿入箇所を本文の欄外（できなければ文中）に朱記し表・図のみの別ファイルとする。写真は図として取り扱うので、図として通し番号をつける。表・図は、エクセルもしくはパワーポイントで提出する。

- 2) 形式

表題（日本語と英文で併記）

所属（機関名）

氏名（筆頭著者は会員であること、共著者で単年度会員は、アスタリスクをつけその旨を記載すること；単年度会員は認定医申請において業績単位として当該論文は認められない）

筆頭者の所属機関の所在地（〒番号、連絡先）

メールアドレス

キーワード（3～5語句まで、日本語と英語で併記）を書いて表紙として原稿に添付する。

次ページに英文抄録および日本語の抄録をつける。

3) 論文の形式：論文内容により異なるが、標準的な形として以下の順で書く。

①緒言（目的）

②対象、方法

③結果

④考察

⑤結語

⑥文献

4) 記述・用語

①一般用字、用語：専門用語以外は、常用漢字、現代かなづかい、横書きとし、数字は算用数字とする。
ただし、菌種の場合は漢数字とする。

例) 第一小白菌など。

②数字、欧文：数字、欧文は1文字の場合は大文字で、2文字以上の場合は小文字で入力する。また、菌名等の学名は、イタリック体で表記する。

③専門用語：特殊なものを除き、原則として和文とする（日本語化しているものはカタカナとする）。

④欧文、略語：特定専門分野の欧文や略語を使用する場合は、その初出で欧文（略語）の順で書く（欧文では固有名詞以外は小文字）。

⑤度量衡の単位は原則としてSI単位に従う。

5) 表、図および写真：表および図には必ず表題をつける。表の場合は表の上に、図の場合は図の下に書く。図表の表題、図表中の文字は、欧文、和文いずれでも良いが、必ずどちらかに統一すること。

6) 文献

①引用順に整理し、論文の末尾に一括する。本文中の引用箇所の右肩に必ず引用番号をつける。

②著者名は、2名までの場合は併記し、3名以上の場合は筆頭者名のみをあげて、“ほか”、“et al.”とする。

③文献の記載は、次の形にする。

《雑誌》著者名：表題、誌名 発表年；巻数：始頁－終頁

（例）Terai T, et al.: Detection of flatus using a portable hydrogen gas analyzer, J. Clin. Anest. 2003; 15: 570-571.

《単行本》著者名：表題、書名、始頁－終頁、発行所、発行地、発行年

（例）White A: Principle of Biochemistry, 4-5, McGraw-Hill Book Co., New York, 1964

（編者がいる場合）

著者名：表題、書名、始頁－終頁、編集者、発行所、発行地、発行年

（例）梅本俊夫：口臭と口腔環境、呼気生化学－測定とその意義、76-80、小橋恭一、メディカルレビュー社、大阪、1998

（例）Vreman HJ, and Stevenson DK: Detection of hemeoxygenase activity by measurement of CO, Current protocols in Toxicology, Vol. 1, 92-1～92-10, Maines MD, et al. John Wiley and Sons Inc., 1999

④雑誌名の略号は以下に従う。

外国文献：List of Journals Indexed in Index Medicus

国内文献：当該雑誌の指定する略し方に従う。

不明な場合は事務局へ問い合わせください。

2. 症例報告の場合

- 1) 氏名や病院、地名などについては略語とする。

例)

20歳前半の女性（初診X年2月）

主訴：口臭が気になる

現病歴：A歯科医院で、X-2年、秋ごろ、う蝕処置を受ける。X-1年3月、B総合病院の耳鼻科にてアレルギー性鼻炎の診断の元、アレグラを処方される。耳鼻科で、口臭を訴えたところ、当院を紹介された。

3. 製品資料（解説書）の場合

解説書の形式および項目以外は、1. 学術論文の場合に準じてください。

- 1) 形式

製品名

発売元

発売元の所在地（〒番号、連絡先）

執筆者およびメールアドレス

販売先（何処で入手できるか）

価格（原稿作成時点で）

を書いて表紙として原稿に添付してください。

- 2) 解説書の項目は下記を参考に作成ください。

1. 製品の目的、ユーザーへアピールしたいポイント（特長、効用、作用など）
2. 原理、構造と機能、主たる有効成分とその作用機作（説明）
3. 使用方法の概要
4. アフターサービスについて
5. 第三者による使用経験、評価データなど（学術論文など）
6. 製品写真
7. その他（ユーザーに特に知っておいてほしい事項）

ご不明な点がございましたら、メールでお問い合わせください。

Email: info-jams1@takeda-prn.co.jp

平成27年2月24日

本規定は平成22年6月30日から施行する。

本規定は平成24年2月27日から一部改正し施行する。

本規定は平成25年4月13日から一部改正し施行する。

本規定は平成26年6月30日から一部改正し施行する。

本規定は平成27年3月30日から一部改正し施行する。

日本口臭学会会誌論文投稿票

1. 論文種別 (チェックする)

原著 総説 臨床研究 調査・統計 症例報告 治療上のヒント

2. 論文タイトル _____

3. 著者名 (全員) _____

4. 筆頭著者の所属機関 _____

5. 原稿の構成

・ 本文 (表紙、本文、文献、付図説明を含む) _____ 枚

・ 図 _____ 枚、 表 _____ 枚

6. 別刷希望部数 _____ 部

7. 連絡先 (投稿・校正責任者)

・ 氏名 _____

・ 住所 〒 _____

・ 電話 _____ 内線 _____ Fax _____

・ E-mail _____

8. 備考、連絡事項

(次ページのチェックリスト確認)

承諾書

日本口臭学会 御中

(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

下記に署名した著者は下記の表題の投稿原稿が「日本口臭学会会誌」に掲載された際には著作権が貴学会に帰属することを承諾いたします。

・ 論文タイトル _____

・ 著者 (全員：自著)

チェックリスト

貴稿が日本口臭学会誌の投稿規定に沿ったものであるかを確認し、□にチェックしてください。

- 最新の投稿票・承諾書をお使いですか。
- 著者は本学会会員ですか。単年度会員を含む場合はその旨を明記していますか。
- 承諾書には著者全員が署名してありますか。
- 原稿はA4版（1枚 40字×30行）を用いていますか。
- 原稿にはページが入っていますか。
- 文献は所定の書き方で、引用順になっていますか。
- キーワードは3～5語句までで、日本語と英語で記載されていますか。
- 日本語要旨と内容が一致した英文抄録が添付してありますか。
- 図表には表題がついていますか。
- ヒトを対象とした研究の場合、所属機関の倫理委員会の承認を得ていますか。
- 症例発表の場合、患者が特定されないような配慮をしていますか。